

北部太平洋大中型まき網漁業地域漁業復興プロジェクト漁船建造計画書

1. 目的

船団(1ヶ統単位)での省エネ、省人化、メンテナンス費用等の軽減を工夫すると同時に漁獲物の付加価値を向上させることにより量から質への転換を促進することにより、多投資大量漁獲型の経営からの脱却を図り、資源変動に強い安定した経営を確立する。

2. 基本方針

- ・ 省エネ：既存の5隻体制より、2隻体制に移行し、燃油費の削減。
- ・ 省人：現行の網船、探索船、運搬船の代船として運搬及び凍結・保冷機能を持つ網船を建造。乗組員を51名体制から32名体制に省人化する。
- ・ 居住性の向上：新設備基準に適合するほか、乗組員スペースの拡充。
- ・ 安全性の向上：十分な乾舷を確保する。
- ・ 設備維持経費の節減：現行船は空間に余裕がない。配管スペース等にゆとりをもたせた構造とすれば予備浮力に寄与するばかりではなく、将来必要となる改造工事、検査時の費用等を大幅に節約できる。
- ・ 漁獲努力量を増加させない対策として、網置き場面積・魚艙容積は現行船・現行船団と同等以下とする。

3. 船体の要目

- ・ 漁船の資格および航行区域 第1種 (乙区域)
- ・ 年間操業の漁業種類 周年まき網漁業
- ・ 計画総トン数 330トン以下
- ・ 計画航海速力 15.50ノット
- ・ 最大航海日数 30日
- ・ 主推進装置 2,942kw(4,000ps)
- ・ 発電機関 880kw(1,197ps)×2基
- ・ 最大搭載人員 25名
- ・ 網置き場面積 88.25m²以下
- ・ 魚艙容積 750m³程度(グレーン)
- ・ ブライン槽 70m³程度
- ・ 冷凍機 160kW×6台(凍結用×5台、保冷用×1台)

【参考資料】

現存船の状況

- ・ 漁業種類 大中型まき網漁業

	網船	探索船	運搬船①	運搬船②	運搬船③
・総トン数	135t	99t	317t	286t	242t
・主機関馬力	853kW	735kW	1,154kW	735kW	735kW
・航海速力	14.0kt	13.0kt	13.5kt	13.0kt	13.0kt
・最大搭載人員	25名	10名	12名	12名	12名
・魚艙容積	—	—	471m ³	522m ³	390m ³

※運搬船の被代船は、②、③とする。